

# あがの 市議会だより



第26号

(6月定例会号)

平成27年7月15日

発行／阿賀野市議会

編集／議会改革推進特別委員会広報部会

議会事務局／岡山町10番15号

TEL／0250-62-2510 (代表)

FAX／0250-61-2067

HP／<http://www.city.agano.niigata.jp/>

E-mail／[gikai@city.agano.niigata.jp](mailto:gikai@city.agano.niigata.jp)

本会議の中継映像を市ホームページ市議会のページ内で配信しています。

インターネットの検索サイトで、 で  してください。



## 平成27年6月7日 阿賀野市消防大会

笹神支所で開催された、第12回阿賀野市消防大会の様子です。地域の安全と安心を守る消防団75部のうち、今年は28部が参加し、日頃から訓練を重ねた迅速な動きでポンプ操法と通常点検の競技が行われました。



## 次回(9月)定例会の予定

8月28日(金)	議会運営委員会 (定例会の 運営方針決定)
9月8日(火)	本会議 (議案上程、 委員会付託 一般質問)
9月9日(水)	本会議 (一般質問)
9月10日(木)	本会議 (一般質問)
9月11日(金)	総務文教常任委員会
9月14日(月)	社会厚生常任委員会
9月15日(火)	産業建設常任委員会
9月16日(水)	決算審査特別委員会
9月17日(木)	決算審査特別委員会
9月18日(金)	決算審査特別委員会
9月24日(木)	休会 (事務整理)
9月25日(金)	本会議 (委員長報告、採決)

8月28日開催予定の議会運営委員会で正式に決定します。その後、市ホームページでもお知らせしますのでご確認ください。

### 議会を傍聴しませんか

本会議は一般に公開され、どなたでも自由に傍聴できます。申し込みの必要はありませんが、傍聴席入口で受付簿に住所、氏名を記入していただきます。市政を知るよい機会です。みなさん議会傍聴においでください。

詳しいことは議会事務局までお問い合わせください。



阿賀野クラブ 山口 功位

### 国道290号の歩道整備について

**質問** 勝屋から折居までの間、道路幅も狭く又歩道もない。通学、農作業等々に非常に危険な状況であり、早期に歩道の整備を、国県等に要請するべきだ。

**答弁** 県に要望しているが、引き続き早期の歩道整備、路肩拡幅による堆雪帯の確保や側溝の蓋がけ等による道路幅員の確保なども併せて要望していく。



ネオあがの 市川 英敏

### 空き家対策について

**質問** 国土交通省は全国の空き家総数820万戸におよび、適切な管理が行われていない空き家等が、防災、衛生、景観等で地域住民の生活環境に深刻な影響をおよぼし、地域住民の生命、身体、財産の保護、生活環境の保全、空き家等の活用のための対応が必要となり、空き家対策特別措置法が、平成27年5月26日より施行された。818戸ある本市の空き家について、どのように対応、対策を

### 選挙時の投票所の増設を

**質問** 高齢化が進む中、身近に設置すべき投票所を、なぜ今まであったものを廃止したのか。逆に増設するべきではないか。

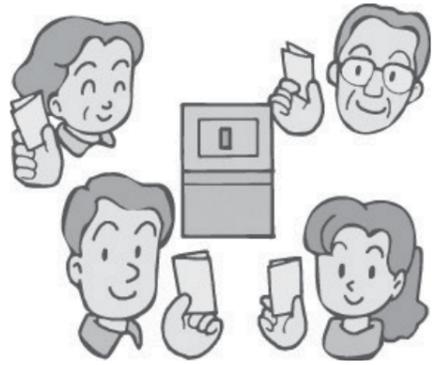
**答弁** 投票所については、平成22年46か所から、現在の31か所に再編した。投票所の増設は、自治会の集会施設における駐車場確保の課題のほか、投票立会人や事務従事者確保、国の経費の削減など難しくなっているところであるが、今年度中に新たな投票区域の基準の策定や交通手段の導入、期日前投票所の増設の可能性など総合的視点から選挙管理委員会と検討し、可能なものについては、順次来年以降の選挙に導入できるように、体制を整えていきたい。

### 進めるのか何う。

**答弁** 今年度から空き家をリフォームする場合の工事費の一部を補助する空き家リフォーム支援事業を開始した。今後は、法に基づく特定空き家等の認定や勧告など、この制度を適切に運用しながら空き家の適正管理を図っていく。



### 本市の活性化事業について



**質問** 地域事業の活性化、新規事業の市民交流農園ハウスの実施計画については、365日24時間責任を持った方がそこに腰を据え、長期的に栽培・管理していただき、作物の選定、良品質の生産、販路の確保とともに有利な条件での販売など、儲かる農業を行っていただき、どのような経営方法になっても独立採算とし恒常的に赤字補填とならないよう慎重なる検討をしていただきたい。

**答弁** 若手農業者に研修の場として貸し出す「新規就農ハウス」と都市部の住民等に農業体験、収穫体験の場を提供する「市民交流農園ハウス」を整備するもので、作物・栽培方法・施設の規模や設備はどうするか、管理・運営はどのような方法が望ましいか検討することにしており、本年10月末までに計画の取りまとめを終える。



日本共産党 宮脇 雅夫

### 過去の日本の戦争は「間違った戦争」と思うか

**質問** 今年は戦後70年。「村山談話」では、「我が国は、遠くない過去の一時期、国策を誤り、戦争への道を歩ん(だ)」と述べ、過去の日本の戦争に対して「間違った戦争」との認識を明らかにしている。市長は、過去の日本の戦争は「間違った戦争」であり、再び繰り返してはならないと思うか。

**答弁** 村山談話のとおりで、「間

違った戦争」だと思ふ。

### 「ポツダム宣言」での日本の戦争認識の見解は

**質問** 「ポツダム宣言」では、日本の戦争は、世界征服のための侵略戦争だったと判定しているが、市長の認識は。

**答弁** 「ポツダム宣言」はつまびらかには読んでいないが、日本の戦争の認識については、村山談話のとおりではないかと思う。

### 再び過ちを繰り返さないため、「戦争法案」に反対せよ

**質問** 安倍内閣の「平和安全法制」は、憲法9条を根底から破壊し、国民多数の反対を無視し「海外で戦争する国」へ日本をつくりかえる「戦争法案」であると思うが、市長の見解は。

**答弁** 安倍内閣の集団的自衛権行使は、少し強引ではないかと思う。世論調査では、8割の国民が「説明不十分」、「廃案または、国会での成立反対」ということだが、私もその一人だ。



### 防災行政無線の戸別受信機設置について

**質問** 市は、防災行政無線の運用を開始したが、安田地区住民からは「家の中にとよく聞こえない、戸別受信機が必要」との意見が多数だが、対策は。

**答弁** 防災行政無線の音達状況の確認や、同時に複数の情報を発信する有効性など調査し、必要に応じて整備していきたい。整備に要する経費は、市の全世帯に配布した場合、約8億円と試算。

### 地域経済分析システム活用について



ネオあがの 天野美三男

**質問** 平成26年9月、人口減少克服・地方創生という我が国が直面する大きな課題に対し、各地域がそれぞれの特徴を活かした自立的で持続的な社会を創生できるよう、内閣総理大臣を本部長とする、まち・ひと・しごと創生本部が設置され、平成26年12月27日に「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創

生総合戦略」が内閣で決定された。今後、地方自治体がそれぞれの地域の強み・弱みなどの現状・実態を正確に把握するとともに、データに基づく目標・重要業績評価指数の設定、PDCAサイクルの確立等が求められている。産業構造や人口動態、観光の人の流れなどの現状・実態を正確に把握できる、この地域経済分析システムの活用促進に向けた、自発的かつ効率的な政策立案について何う。

**答弁** このシステムは、地域経済に係わる様々なビッグデータを可視化するシステムで、情報の可視化により地域の実態把握や将来像の客観的な予測が可能となり、地域の実情に応じた効果的な経済対策や人口減少対策の立案などを容易にすることができるとされている。阿賀野市においても、施策や事業立案にこのシステムを活用していくこととしている。まずは、職員が国等の実施する研修などを



通じて、システムを使いこなせるようにするとともに、分析力を高め、政策の立案に生かしていきたい。



公明党 村上 清彦

### 住宅政策について

**質問** 公営住宅の整備はどのような方向で検討されているのか

**答弁** 平成25年3月に策定した市営住宅長寿化計画を基に、現入居者の意向や入居希望者の状況民間賃貸住宅の供給戸数等を調査するとともに、整備手法についても民間資力の活用や民間物件の借り上げ、家賃補助制度など多面的な検討を進めている。この調査・検討結果を踏まえ、本年度中には

具体的な整備計画を策定していきたいと考えている。

**質問** 子育て世帯、障がい者、二子、母子・父子世帯、高齢者等に対する住宅施策はどのように考えているのか。

**答弁** 今ある住宅を有効に活用し、空き家対策や定住促進という視点とあわせて、多様なニーズに配慮される柔軟な居住支援策を打ち出していきたいと考えている。



### 支援を必要とする若者への対策について

**質問** 義務教育終了後の進路未定者への支援の現状と課題について伺う。

**答弁** 関係する複数の課の職員が、県等の主催する実務者レベルの研修会や学習会に参加しながら、支援体制や連携を模索し、早急に効果的な体制はどうかあるべきか導き出していきたいと考えている。市の取り組みでは、進学や就職ができずにいる若者を対象に、社会参加のきっかけづくりや、悩んでいる若者や家族を対象に交流会を開催し、就労に向けた支援が行われている。

**質問** 中間的就労等の受け入れ先の拡充など、関係機関とのような連携をとっているのか。

**答弁** 支援が必要な方から相談があった場合のサポートステーションや出張相談所の紹介、サポートステーション等からの相談者に対する福祉的支援の要請への対応など、今まで以上に連携を密にしている。



無党派 遠藤 智子

### 障がい者共同生活援助について

**質問** 地域での日常生活を支援することを目的とした、阿賀野市第1号の「グループホーム」では、8名が利用されているが、阿賀野市第4期（平成27年～29年）障がい福祉計画中に、6名増の利用見込み人数が示されている。またグループホームの利用者は男性のみであり、女性の利用、今後のグループホームの増設、設置場所について伺う。

**答弁** 女性の利用者については1名だったことや「男女混合型施設は入りにくい」点等で、家族から「女性専用グループホーム」設置を望む声があり、現在、「障がい者自立支援協議会住まい部会」で女性専用型も含めた施設の増設に向けて検討中である。設置場所として休日の余暇活動の充実の観点から交通手段の整った場所が望ましいと考え、今後検討していく。

**質問** 25年度の質問後におけるネクスコ東日本の駐車場の利用について交渉結果は。

**答弁** 交渉は継続中だが、ネクスコ東日本駐車場は基本的には職員、作業車専用であり、利用者の危険な事例もあり、危険防止上開放は考えていないとのことだが、公共交通の利用促進、利便性の向上のため、今後も粘り強く交渉していく。



### 安田インター駐車場整備について

**質問** 待望の安田インター駐車場整備事業（1000万円）が予算

**答弁** 駐車場の拡張整備に合わせ考えていく。



ネオあがの 雪 正文

### 地方創生・阿賀野市総合戦略の策定について

**質問** 平成27年度は「地方創生元年」と言われ、全国の自治体人が人口減少対策、少子化対策、地域経済の活性化などに正面から取り組んでいる。

**答弁** 阿賀野市でも「総合戦略」を策定することとしているが、戦略策定の目的、時期、また、特に目玉といえる施策は何か伺う。

創出や人口流出の歯止め策、出産子育て支援など、人口減少を克服し、地方創生に向けて地域特性を生かした施策の策定がしたい。

**質問** これまでも総合計画を策定し、中長期的な市の進むべき方向の指針としてきたと思うが、最近、市の施策や事業と総合計画の関係性が見えていないと感じる。

### 総合計画の策定について

**答弁** 現総合計画は、成果指標が示されていないため、どこまで施策が達成されているかわかりにくいものとなっている。私は市長に就任した際、既存の総合計画ではなく、公約に基づき5つの柱を掲げて市政運営することとした。



が、どういう状況か伺う。これまでの総合計画は、ある意味、理想論や財政的な裏付けに乏しい「夢」のようなところがあったと思うが、新しく策定しようとしている総合計画は、そのような「絵に描いた餅」になることはないか伺う。

**質問** TPPがいよいよ正念場となったが、市長の考えは。（米国の議会で調整が難航し、再採決は7月末までに行うと延期）

**答弁** 今後は関係団体と連携を密に行動をしていく。



日本共産党 倉島 良司

### マイナンバー制度（国民共通番号）を市長はどう思うか

**質問** 政府が来年1月実施を進めているマイナンバー制度について、「よくわからない」「情報流出がこわい」などの声が聞こえてくる。赤ちゃんからお年寄りまで、住民登録をした国民一人一人に12桁の生涯変わらない番号を付け、社会保障や税の個人情報情報を一括管理・活用すること。

同一人物の情報が一つに結び

れ、国による個人情報の大量集積が進む。警察の犯罪捜査に利用できるなどの例外も認められているなど、国民監視の道具とされる面も心配され、同様の制度を導入しているアメリカや韓国では、情報流出や不正使用が深刻で、制度自体を見直す動きが出ているとのことである。制度実施を前にして、準備が遅れ自治体の準備も進まず利用が義務付けられている多くの事業者は、準備すら始めている。市としてどう対応し、市民の負担とならないように対策をどう考えているか尋ねる。

**答弁** 国・県・市町村などの各行政機関がそれぞれ別々に情報を保有する形で管理し、法令等で定められた場合においてのみ、必要な情報を国のネットワークシステムを使用してやり取りを行う「分散管理」が採用されることになっている。事業者への影響は、本人確認作

業や個人番号の管理など非常に大きな事務的負担や影響が出るものと考えている。



### TPPについて

**質問** TPPがいよいよ正念場となったが、市長の考えは。（米国の議会で調整が難航し、再採決は7月末までに行うと延期）

**答弁** 今後は関係団体と連携を密に行動をしていく。

◇その他の質問◇  
医療保険改悪法案可決強行について



日本共産党 稲毛 明

### 鳥獣害対策について

**質問** この間、サル等中心の対策・予防であったが最近イノシシが出没するようになってきている。農作物や人への被害が危惧されており、抜本的な対策を今のうちに確立していく必要があると思うが対策について伺う。

**答弁** イノシシの目撃や痕跡は、2、3年前から国道290号沿線の山手方面で確認されており、今年4月には、笹岡地区において出

没の痕跡等の情報が寄せられている。これを受けて、関係自治会へ閲覧文書等で注意喚起を促すとともに、昨年度結成した阿賀野市鳥獣被害対策実施隊(猟友会会員が隊員)56名と庁内関係部署と連携を密に

設置するなど、警戒態勢を整えながら被害防止に取り組んでいる。

### 阿賀野市の産業振興について

**質問** 阿賀野市産業経済振興条例は活力のあるまちづくりを目指すため、平成21年3月25日に制定された。たとえばこの間、地産地消と学校給食を取り上げてきたが、方向性がはっきりしていない。学校給食一つ取り上げても、広く多岐にわたっている。ここに本格的に着手すれば条例でうたっているに

を深めてもらう工夫が必要と思う。



日本共産党 山田 早苗

### 瓢湖・瓢湖周辺の維持管理について

**質問** 今後の瓢湖をどう位置づけていくのか。計画があるか。

**答弁** 白鳥などの野鳥に愛される生息環境を守り、地域の愛護団体と協力して生き物と人が共生できる環境づくりを進める。長寿命化対策事業で、トイレ・ベンチの改修等環境保全、整備に努める。

**意見** 世界的にも貴重な瓢湖を維持していくために、住民・観光客からも自然保護の観点から、理解

### 公共施設再整備計画について

**質問** 住民自治の発展のためにも「対話と共感」を進めるべきと思うが。

**答弁** 住民に十分な説明をして議論を重ね、理解していただくプロセスが大切。住民自治の醸成が図られると期待する。

**質問** 今年2月の説明は暫定であって決定ではないはずだが。

**答弁** 決定して住民と検討を始めている施設もある。決定ではない施設もある。

**意見** 地域によっては、公共施設がなくなり、市政から取り残され



ぎわいを創出する産業のまち阿賀野市」を構築すると考える。阿賀野市の産業振興の中心はこの条例である。そこで市の方向性を伺う。

**答弁** 平成24年に事業者や関係機関・団体等の参画のもと「阿賀野市産業経済振興基本計画」を策定したところである。また、計画では産業経済振興のための「取組みメニュー」を示しており、引き続き、条例と計画に基づいた施策をしつかりと推進していきたい。



るとの懸念の声もある。早めの説明と話し合いをして、方向を一緒に探るべきだと思う。

### 柏崎刈羽原発再稼働について

**質問** 再稼働すべきではない。との考えは変わっていないか。

**答弁** 平成26年9月議会での答弁と変わっていない。

**質問** 4年経っても現場の状況すら確定できない原発は、人類と共存できない。再稼働は認められないし、住民の命や暮らしを守るために廃炉への決断を国や東京電力へ、自治体の長として迫るべきではないか。

**答弁** 専門性も高く広域的な対応を必要とすることから、県内の全市町村が連携して研究会を発足させ活動をしている。ここでの議論を東電や国・県へ発信していく。



新政クラブ 佐竹 政志

### 国民健康保険の県単位化について

**質問** 平成30年度より実施予定の国民健康保険制度の県単位化については、県内の各自治体の国民健康保険税が、一人当たり最高11万4千円、最低7万2千円で約4万円の差がある。

国民健康保険制度は助け合いの制度であり、近年の医療費の伸びを考えると各自治体の努力だけでは対応に限度があり、大きな加入



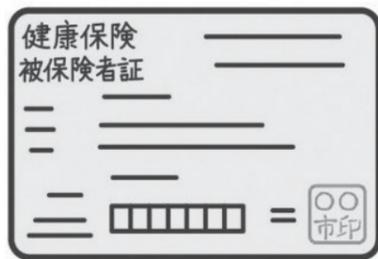
無党派 山賀 清一

### 街の青写真について

**質問** 地域経済の低迷、空洞化現象での衰退、汗をかいても元気がでない。この課題をもっと前に進めるには抜本的対策が必要。そこでは重要なことは真のパートナーとブレインを集めて、もっと情報収集、情報共有、役割分担、事業構想、事業構築すべきである。中期長期計画の中で、今一考の必要性があると認めるがどう答弁するか。

者の組織に変わることはプラスになると思うが、当市においてのメリット、デメリットはどうか。

**答弁** 県単位化時に国費が増額されることで、保険税負担の軽減、高額医療などリスクの分散などによりメリットがあるが、デメリットについては、現在把握していない。



**質問** 今、若者の雇用形態が正規雇用から非正規雇用に変化しており、将来展望が見えない状況下であり、国の労働政策を変えない限り、人口減少や少子化対策の成果は期待を持ってないと思うが。

**答弁** 将来にわたり安心して希望の持てるまちづくりに取り組んでいく。

### 地方創生推進のための阿賀野市総合戦略策定について

**質問** 現在、市においてまち・ひと・しごと創生総合戦略の策定を進めているが、重点課題について市長の考えを伺う。

**答弁** 人口減少対策、少子化対策及び地域活性化策に重点を置いて取り組んでいく。

られ、オールマイティの職員でも、市民、住民に満足の届く行政サービスは低下する。他の自治体では弁護士を職員として採用。市民の困りごと相談に気軽にのってやり大変な効果も上げている。当然無料であり行政としても色々な面で価値は十分にある。この点の認識と覚悟は。

**答弁** 要望も多様化・高度化し、対応に、高い専門性や豊富な知識経験が求められ、対策として一般行政職以外に土木職、保健師、社会福祉士、管理栄養士、幼稚園教諭、電気主任技術者、消防職などの専門的人材を採用。更に社会人経験者、専門的な技術・資格・知識・経験等を有する職員の採用に考慮しなければならぬと認識している。社会人経験のある人材を若干名採用する。



### 専門職の必要性について

**質問** 時代は複雑多様化、多岐にわたって世の中に対応能力が求め



### 新病院・地域医療に関する特別委員会報告

6月2日、次の議題について担当課が報告し質疑応答しました。

①あがの市民病院建設の進捗状況について  
5月19日電力受電がなされ、5月22日全ての外部足場を撤去、引き続き内装工事を進め、設備機器の取り付けが完了したところから、機器のチェック、試験を行い、新病院の周囲の外構、舗装、排水施設工事等全ての工事を完了し、7月中旬をめどとしていくとのことです。

②新病院建設に係る継続費の補正について  
6月の補正額1億1290万5千円は、インフレスライド（賃金又は物価の変動に基づく請負代金の変更）などに係る病院整備事業費の増減によるものです。

③水原郷病院の平成26年度決算について  
平成26年度決算は、1億3727万円の赤字で、2月25日に示された赤字見込み額より6439万5千円の減額となりました。要因は費用全般で節約を図ったためとのことです。

④水原郷病院の経営改善に向けた取り組みについて  
市、厚生連、病院が連携し、新潟大学等への医師派遣要請や医師招へい、患者確保に力を入れ、更に収支等の情報共有と経営改善に向けた



1階玄関ホールから新病院内部を見学

協議を進めていくとのことです。

【その他】  
○健康管理センターの活用計画（案）について  
病児保育、子育て支援、白鳥ルームなど子育て総合支援の拠点施設として新病院完成後に整備を考えているとのことです。

6月19日、新病院・地域医療に関する特別委員会、あがの市民病院の現地視察を行いました。診療科ごとに受診者に配慮されており、10月の開院が待たれます。

### 常任委員会の活動 総務文教常任委員会

子どもとメディアとの関わりについて

教育長や教育指導主事から、市内小中学生のメディア使用時間の状況、ネットトラブルの現状、またそれに対する取り組みについての説明を受けました。

全国学力学習状況調査によると、市内の小中学生のメディア使用時間は全国平均よりも長いことがわかっていくそうです。このことから、メディアに熱中する子は学習時間や就寝・起床時刻、授業への取り組み態度に影響したり、家の人との語らいの時間が短くなったりする状況であると考えられます。

県ではインターネット上の問題について、委託業者へSNSの監視を依頼しているそうですが、昨年度の事故報告は無かったとのことですが、実際は見つけられない問題も多いと思われるそうです。

教育委員会では関係機関や学校の教職員に対してネットトラブルの対応について周知をした

### 平成27年4月21日に所管事務調査を行いました。

#### 子どもとメディアとの関わりについて

り、保護者に対しても啓発活動を行っているようですが、学校を離れた子どもたちの行動を全て把握するのは不可能であり、学校だけで取り組むには限界があるとのことです。委員からは、学校と地域が連携して子どもをメディアから少しでも遠ざけるために具体的な提案も必要であるという発言もありました。

教育委員会からの説明の後、活発な質疑、論戦が交わされ、非常に有意義な委員会でした。が、なかなか表面に出にくい問題を含んでいる課題であり、啓発活動はこれからも大事な分野と思われまます。

本委員会としては、今後も教育委員会をはじめ各関係機関とも連携しながら、解消に向けて一緒に頑張っていきたいと思っております。

#### 閉会中の継続調査事項（9月定例会まで）

- (1) 学校給食の現場の状況と取り組みについて
- (2) 視察研修について

### 常任委員会の活動 産業建設常任委員会

阿賀野市産業経済振興基本計画について

平成21年4月、中小商工業のみならず市の産業経済の基盤である農林業を基本に据えた阿賀野市産業経済振興条例が施行され、平成22年7月、市産業経済振興基本計画検討委員会設置要綱を制定、4つの専門部会で構成される検討委員会を立ち上げ、専門部会によるワークショップ形式での議論を重ねて基本計画（案）を策定、平成24年3月に産業経済振興基本計画を完成させたものです。

平成25年7月には、市内各事業所の事業展開を軸としながら、後進の育成や市の産業振興を真剣に考え、状況に応じてボランティア精神を持ちながら他団体との協働を図り、市の産業振興を牽引することを目的に有志（会員）で構成される組織、阿賀野ドリームプロジェクトが発足しました。

取り組みは、多岐にわたり、中でも「チームワーク強化イベントの開催」として定期的な会合・交流会やイベントを開催、具体的には市内四商工会とも協力して4回目を迎える「産業

### 平成27年5月14日に所管事務調査を行いました。

#### 阿賀野市産業経済振興基本計画について

フェア」や3回目となる産業活性化交流会の開催、そのほか市内の商品、サービス、技術、取り組みに対して優良案件を発掘、実現・拡大に向けてサポートするビジネスプランコンテストがあげられます。

委員からは、特に基本計画策定後の阿賀野ドリームプロジェクトの取り組みやその実績に対して高く評価する意見、また、市を取り巻く経済環境が厳しい中での牽引役としての今後の活動に対する大きな期待を寄せる意見が出される一方、関係所管課の有機な連携も含め行政としてさらなる活動の支援、バックアップを求め意見が出されました。

#### 閉会中の継続調査事項（9月定例会まで）

- (1) 阿賀野市の圃場整備の現状と今後の計画について
- (2) 視察研修について

### 常任委員会の活動 社会厚生常任委員会

ごみ処理広域化の進捗状況について

五泉市・阿賀野市・阿賀町一般廃棄物処理施設整備推進協議会の平成26年度における広域化実施計画（1年次）の協議では、ごみ処理広域化の考え方、ごみ処理施設の整備に関する試算等が検討されたことでした。また、一般廃棄物処理施設の整備のあり方について、必要な事項を協議し、協議会の会長に提言を行う検討委員会（委員27名）では、五泉地域衛生施設組合ごみ焼却場ほか5か所の現有施設の見字やごみ処理広域化の基本方針、ごみの減量化と資源化、3R推進に関する各市町の方針、分別収集するごみの種類及び分別区分などの協議が行われたことでした。

検討委員会課題となっているのが、3市町で分別収集するごみの区分方法が違ふことで、平成27年度の協議の中ではっきりとした結論を出さなければならぬことや、新ごみ処理施設の建設候補地選定についても今年度の協議事項となることなど説明がありました。

委員からは、新ごみ処理施設の候補地選定に

### 平成27年4月23日に所管事務調査を行いました。

#### ごみ処理広域化の進捗状況について

ついて、本市としての考え方と候補地を準備しておくべきではないか。3市町のごみ処理施設が広域化で1か所になった場合の災害時対策、危機管理はどう考えているのか。燃えないごみの処理は、従来どおり本市独自の処理となるのか。ごみ処理広域化を機会に、ごみの分別や排出形態について広域的に統一することを、本市で協議会に提起してはどうかなど、質疑・意見が出されました。

※3Rとは  
循環型社会を構築していくためのキーワードであり、廃棄物の発生抑制 Reduce（リデュース）、再利用 Reuse（リユース）、再資源化 Recycle（リサイクル）のそれぞれの頭文字をとった言葉です。

#### 閉会中の継続調査事項（9月定例会まで）

- (1) 地域包括ケアシステムの進捗状況について
- (2) 高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画について
- (3) 視察研修について

# 第12回 議会報告会

5月16日草水コミュニティセンターで議会報告会、5月20日京ヶ瀬商工会青年部と意見交換会を開催しました。各会場での質疑、意見の一部を紹介いたします。なお、掲載内容については要約してありますのでご了承ください。



会場 草水コミュニティセンター



京ヶ瀬商工会青年部との意見交換

**質問** 今年度の予算減額の理由は。

**回答** 水原郷病院の建設分の歳出が減ったことが大きい。

**質問** 6月末までに国の財政健全化計画の見直しがあるようだが、生活に影響があるのでは。

**回答** 社会保障費が削られてしまうことが心配される。

**意見** 介護保険の内容について、事前の説明ももっと分かりやすく説明があるとよい。

**意見** 市営バスについては、時間帯等の見直しが必要だと思っ。

**意見** 朝の便の出発時間について、診療所の予約に間に合わない。出発時間を早くしてほしい。

**回答** 毎年10月にダイヤ改正があり、意見・要望は取り入れている。

**質問** 市営バスの収支内容について聞かせてほしい。

**回答** 国から交付金が半分出る。

**質問** 防犯灯補修費について補助はあるのか。

**回答** LEDにした場合補助がある。

**意見** 20歳の健康、プレセント事業（健康診断）参加人数は。振袖で参加した人は健康診断に参加しにくいのでは。

**回答** 健康診断参加人数は把握していないが、振袖での健康診断は難しいかと思われる。

**質問** 健康寿命延伸・生活習慣病医学講座開設事業の内容は。

**回答** 新病院開院に伴う事業。

**質問** 病児保育事業929万円の内容は。

**回答** 病児保育に関わる人材費用等。あがの市民活動補助金について、1回だけの利用なのか。補助金は全額申請されたのか。

**回答** 原則1回。今年度申請はまだ余裕がある。

**質問** 地域おこし協力隊推進事業の内容は。阿賀野市の住民ではだめなのか。

**回答** 今回2名の採用は決まっている。国の政策で1人あたり400万円、法人に200万円、個人に200万円の支給となっている。市外からの応募による。

**質問** 阿賀野市の人口は減少しているが、転入・転出の状況は。

**回答** 転入、転出により人口が流出していく社会減、出生者数より死亡者数が多い自然減で、合併してこの10年間で4000人くらい減っている。人口減少、少子化対策のため、今後10年の市の方向性を示す総合計画と併せて、総合戦略策定に取り組んでいる。

**意見** 京ヶ瀬地域の学童保育は6年生まで見てもらいたい。子育て家庭は不安である。

**意見** 京ヶ瀬地域で温泉を活用した観光（保養地施設、健康増進施設など）を検討しては。

**回答** 五頭温泉郷で検討している。温泉療法医も検討している。

**質問** Uターン奨学金補助事業の内容は。

**回答** 地元に戻ってくれば補助される。日帰り温泉施設や道の駅や老人ホームの一体化も検討しては。

**回答** 道の駅構想の中で市も検討している。これから市民の皆さまと協議、検討がされていくと思われる。

**意見** 子ども4人、5人出産で補助などは。

**回答** 現在の財政で調整が必要と思われる。

いただいたご意見を参考に、政策立案等に役立てていきたいと考えております。これからも多くの市民の皆さまからご参加いただけますようお願いいたします。

市ホームページ内「市議会のページ」に議会報告会の内容を掲載しておりますのでご覧ください。

## 議会の情報発信！

会議日程や会議録、議会報告会などの情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

### 【阿賀野市トップページ】



阿賀野市議会

【市議会のページ】

### 議会中継

#### 市議会の映像配信

本会議を生中継と録画映像で見ることができます。



## 議会と意見交換しませんか

皆さんのもとへ出向き、意見交換会をいたします。自治会・団体・グループ等で気軽に申し込みください。

**【会場】** 原則、市内の公共施設・地区公会堂等

※使用料が必要な場合は、団体で負担してください。

**【申込方法】** 申込書を議会事務局へ提出してください。申込書は議会事務局に用意してあるほか、ホームページからもダウンロードできます。

## 議 決 結 果

6月定例会（平成27年第2回 6月8日～19日）

		全会一致で議決した議案等	結果	
人 事		人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて 任期満了に伴い、引き続き山口康雄さん（寺社）を法務大臣に推薦したい。	適任	
		阿賀野市監査委員の選任について 任期満了に伴い、土橋伴二さんを監査委員に再任したい。	同意	
専 決 分 算 予 算 補 正 予 算	市 長 提 出 議 案	平成26年度阿賀野市公共下水道事業特別会計補正予算（第4号） 平成27年3月25日専決処分 平成26年度3月補正予算提出後に変更工事が発生し、工事請負費が不足となったことにより管渠工事費510万円を増額。	承認	
		平成26年度阿賀野市一般会計補正予算（第9号） 平成27年3月31日専決処分 歳入歳出それぞれ2億5,992万円を追加し総額235億7,080万8千円とする。今後の財政需要に備えるため財政調整基金積立金2億円、ふるさと阿賀野市応援基金積立金、インターネット・サービス運用基金、地域福祉基金について所要の積立金を増額。	承認	
		平成26年度阿賀野市少年自然の家特別会計補正予算（第3号） 平成27年3月31日専決処分 宿泊を伴う市外の利用者の減少により、予定していた財源が確保できなくなったため一般会計繰入金170万円を増額。	承認	
		平成26年度阿賀野市病院事業会計補正予算（第4号） 平成27年3月31日専決処分 収益的支出を47万4千円増額し、総額7億9,518万8千円とする。過年度医業未収金のうち、居所不明等の理由により徴収不能と判断されるものについて、不納欠損処分とすることにより特別損失を増額。	承認	
		阿賀野市税条例等の一部改正について 平成27年3月31日専決処分 地方税法等の一部改正に伴い改正。主な改正内容は、法人市民税の均等割の税率適用区分である資本金等の額に係る改正等他に係る諸規定、減免手続期間を納期限までに延長する規定、個人住民税の住宅ローン制度の適用期限を延長する規定、寄付金控除の申告に係る個人の市民税に関する特例等の規定、わがまち特例の創設に伴い割合を定める規定、軽自動車税のグリーン化特例等の規定、二輪車及び農耕車を含む小型特殊自動車の税率変更の適用開始期間の1年延長、マイナンバー法施行時に係る関係諸規定を予め整備する規定、たばこ（旧3級品）の税率変更の経過措置等の規定を整備する。	承認	
		阿賀野市入湯税条例の一部改正について 平成27年3月31日専決処分 地方税法等の一部改正に伴い、マイナンバー法施行時に係る個人番号又は法人番号の規定を整備する。	承認	
		阿賀野市国民健康保険税条例の一部改正について 平成27年3月31日専決処分 国民健康保険税の基礎課税額に係る課税限度額を52万円（現行51万円）、後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額を17万円（現行16万円）、介護納付金課税額に係る課税限度額を16万円（現行14万円）に引き上げ、軽減判定所得で被保険者数に乘すべき金額を2割軽減で47万円（現行45万円）、5割軽減で26万円（現行24万5千円）に引き上げ等、規定を改正する。あわせて、減免の申請期限を納期限まで延長する等の規定を整備する。	承認	
		阿賀野市手数料条例の一部改正について 平成27年4月24日専決処分 「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」の一部改正により、法律の名称が「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」に改められたことにより、引用している箇所を改正する。	承認	
		その他	相互救済事業の委託について 平成27年5月13日専決処分 新潟県から移動地震体験車（起震車）を借用するにあたり、公益社団法人全国市有物件災害共済会の任意自動車保険に加入するためのもの。	承認
		予 算 補 正 予 算	平成27年度阿賀野市病院事業会計補正予算（第1号） 収益的収支の収入を267万1千円増額し総額6億8,038万6千円に、支出を267万1千円増額し総額15億61万4千円とする。弁護士委託料等267万1千円を増額。資本的収支の収入を1億1,312万3千円増額し総額30億7,802万8千円に、支出を1億2,682万3千円増額し総額30億9,701万2千円とする。工事監理業務の変更、土壌汚染調査費の増額により委託料2,466万3千円、インフレスライドによる工事単価の上昇等により工事請負費9,523万2千円、一時借入金の限度額を16億円に引き上げることに伴う利息802万2千円、借入金償還元金の繰上償還分等にかかる企業債償還金1,391万8千円を増額。	可決
条 例	制定	阿賀野市いじめ問題対策連絡協議会等条例の制定について いじめ防止対策推進法の規定に基づき、阿賀野市いじめ問題対策連絡協議会、阿賀野市いじめ防止サポート委員会、阿賀野市いじめ総合調査委員会の組織及び運営に関し、必要な事項を定める。	可決	
	一部改正	阿賀野市立小・中学校設置条例の一部改正について 赤坂小学校、山手小学校が、平成29年4月1日をもって保田小学校と統合することにより改正する。	可決	
		阿賀野市介護保険条例の一部改正について 介護保険施行令、介護保険の国庫負担金の算定に関する政令の一部改正において、低所得者の第1号保険料の具体的な軽減基準が示されたこと、地方税法等の一部改正を受けて、減免の申請期限の規定が見直しされたことにより改正する。	可決	
そ 他	工事請負契約の締結について（水原公民館耐震補強・大規模改修（建築本体）工事） 制限付一般競争入札に付した上記工事について、田中・小林・宇尾野特定共同企業体と2億6,211万6千円で請負契約を締結する。	可決		
	工事請負契約の締結について（水原総合体育館耐震補強・大規模改修（建築本体）工事） 制限付一般競争入札に付した上記工事について、坂詰・安田・ライズビルド特定共同企業体と4億1,256万円で請負契約を締結する。	可決		
	市道路線の変更について 寄付を受けた土地（現：公衆用道路）の認定により、1路線（大室村中8号線）を変更認定する。	可決		
	市道路線の認定について 地元要望による2路線（長起村中3号線、猫山377号線）を新規認定する。	可決		
請 願	ウイルス性肝炎による肝硬変・肝がん患者に対する医療費助成等を求める意見書提出に関する請願 ウイルス性肝炎による肝硬変・肝がん患者に対する医療費助成制度の創設と、身体障害者手帳の認定基準の緩和を求める意見書を国会及び政府に提出してほしい。	採択		
	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願 小中学校の全学年における30人以下学級の実現と、義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元することを求める意見書を国の関係機関に提出してほしい。	採択		
意 見 書	ウイルス性肝炎による肝硬変・肝がん患者に対する医療費助成等を求める意見書の提出について ウイルス性肝炎による肝硬変・肝がん患者に対する医療費助成等を求める意見書を国会及び政府に提出する。	可決		
	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出について 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書を国の関係機関に提出する。	可決		
委 員 会 提 出 議 案	条 例	一部改正	阿賀野市議会委員会条例の一部改正について 教育委員長と教育長を一本化した新たな責任者（新教育長）をおくことなどを内容とする「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が施行されたため改正する。	可決

意見が分かれた議案等(各議員の賛否一覧表)

議案	議員	会派													議決結果						
		公明党	日本共産党			新政クラブ		阿賀野クラブ			ネオあがの		会派の所属なし								
	賛否	村上清彦	倉島良司	宮脇雅夫	稲毛明	山田早苗	佐竹政志	江口卓王	近山修	山崎正春	浅間信一	山口功位	高橋幸信	中島正昭	風間輝栄	市川英敏	雪正文	天野美三男	遠藤智子	山賀清一	
		○:賛成 ×:反対 欠:欠席																			
市長提出議案	予補正予算	平成27年度阿賀野市一般会計補正予算(第1号)																			可決
	討論(要旨)	歳入歳出それぞれ1億8,752万1千円を追加し総額210億7,652万1千円とする。土橋北遺跡発掘調査事業費6,717万6千円、子どもの育成支援の充実を図る施策として、10月の「あがの市民病院」開院後に既存の健康管理センター棟を子育て支援センターを中心とした、子どもの育成支援施設に改修するため、(仮称)子どもの城(子育て支援センター)改修実施設計委託料129万4千円、市民参加型子育てサービス運営計画を策定する、まちぐるみ少子化対策事業費363万円、少年野球の児童等の日差し対策として分田小学校グラウンドベンチ屋根設置工事費115万2千円、瓢湖憩の家屋根修繕料141万1千円、ふるさと寄付金の増加による記念品代744万9千円、マイナンバー制度導入に係る経費等を増額。																			
請願	「安全保障関連法」制定の中止を求める意見書の提出を求める請願	自衛隊を戦闘地域に派兵することとなり、日本がいつでもどこでも海外で戦争に参加する国になってしまう「安全保障関連法」制定の中止を求める意見書を政府に提出してほしい。																			不採択(議長裁決)
	討論(要旨)	<b>反対意見:</b> 平和安全法制は、海外での武力行使を禁じた憲法9条の解釈は変えず、専守防衛の理念も堅持し、もっぱら他国防衛のための集団的自衛権の行使も一切認めていない。国民の生命を守る体制の強化と、国際社会への平和協力での貢献を目指すものである。 <b>賛成意見:</b> マスコミ等のインタビューでも、戦前、戦中生まれの方はほとんど平和を望み、戦争反対と発言している。旧満州へ視察にいったときも、戦争の悲惨さを目の当たりにした。戦争への道を開くことには絶対反対である。																			
意見書	年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書(決議)の採択を求める請願	年金積立金の安全かつ確実な運用を堅持し、株式等のリスク性資産割合を高める変更は行わないとともに、年金積立金管理運用独立行政法人に保険料拠出者の意思が反映できる体制の構築を求める意見書を国会及び政府に提出してほしい。																			不採択(議長裁決)
	討論(要旨)	<b>反対意見:</b> 公的年金は、現役世代から高齢者世代への仕送りであり、急激な少子高齢化が進むと、支え手の減少で保険料収入が減り、高齢者の増加により給付が増えることになる。積立金の運用で得られた収入も活用して安定的な年金給付をしなければ、現在の年金制度は保たれず、制度を堅持することからも、現在この方法で運用益を上げている実績を考慮すると反対である。 <b>賛成意見:</b> 年金積立金は、厚生年金保険法等の規定に基づき、専ら被保険者の利益のために、長期的な観点から安全かつ確実な運用を堅持すべきであり、経済成長を目的としたリスク性の高い運用は、年金積立金が毀損した場合、被保険者・受給者が被害を被ることになる。																			
議員提出議案	働き過ぎの防止と良質な雇用の確立、中小企業支援の強化を求める意見書の提出について	労働時間規制適用除外の拡大や労働者派遣法の規制緩和は行わず、全国一律最低賃金制の導入と引き上げとあわせて、中小企業への支援策の拡充など求める意見書を政府に提出してほしい。																			否決
	討論(要旨)	<b>反対意見:</b> 働き過ぎ防止と良質な雇用の確立については良いと思われるが、地域別最低賃金水準1,000円以上と言うのは現実的に今の状況ではいかなものかと思われる。最低賃金法では一定の地域ごとに、審議会で意見聴取して決定している。 <b>賛成意見:</b> 若者が将来への希望を持ち、男女がともに働き、子を産み育てられる社会を実現させるためには、人間らしく働く環境づくりが必須。最低賃金の引き上げ、派遣労働への規制、中小業者への支援など、国の法整備が必要である。更なる改悪では、地方はますます疲弊へ向かう。																			

平成26年度阿賀野市議会政務活動費 収支報告

政務活動費は、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、条例に基づき会派及び議員に対して交付されるもので、残額は市に返還しています。会派には月額10,000円×会派所属議員数、議員には月額10,000円を交付しています。平成26年度の収支報告が提出されましたので報告します。(単位:円)

会派名・議員名	項目	収入	支出											残額(返還額)			
			調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費	計				
日本共産党(4名) 山田早苗、稲毛明、宮脇雅夫、倉島良司		480,000			582,311							10,400				592,711	0
公明党(1名) 村上清彦		120,000	65,360	52,032								2,674				120,066	0
新政クラブ(3名) 近山修、佐竹政志、江口卓王		360,000	73,320	150,548								65,694				289,562	70,438
山口 功位		120,000		91,600								44,040				135,640	0
山崎 正春		120,000		56,800								75,516				132,316	0
浅間 信一		120,000										123,794				123,794	0
高橋 幸信		120,000		91,600								32,400				124,000	0
石川 恒夫		120,000		60,000								23,601	36,411			120,012	0
中島 正昭		120,000			58,185					4,545		58,204				120,934	0
風間 輝栄		120,000		75,700						5,587		36,753				118,040	1,960
天野美三男		120,000	63,890	46,300								73,400				183,590	0
市川 英敏		120,000	69,492	39,000								11,744				120,236	0
山賀 清一		120,000		49,300								90,077				139,377	0
雪 正文		120,000	62,620	48,732								9,936				121,288	0
遠藤 智子		120,000		49,732								44,943				94,675	25,325
合計		2,400,000	334,682	811,344	640,496	0	0	0	10,132	703,176	0	36,411	2,536,241	97,723			

阿賀野市議会改革推進特別委員会広報部会  
 副会長 山田早苗  
 部長 高橋幸信  
 委員 市川英敏、山賀清一、高橋幸信、風間輝栄、山田早苗、田間正栄、早苗文

編集後記  
 各自治会、各種団体等のご協力のもと、議会報告会も第13回目を迎えます。回を重ねるごとに参加者も増え、また、いろいろ貴重なご意見等もお聞かせ願います。我々議員一同大変感謝を申し上げます。ご要請があれどもお伺いいたしますのでぜひご一報をお待ちしております。  
 気楽になんでも「議員としゃべりましょよば」  
 (広報部会委員 高橋 幸信)

議員表彰  
 6月定例会において、全国市議会議長会及び北信越市議会議長会からの表彰状が伝達されました。

在職期間は、合併前の町村議員在職期間を表彰規程により換算(在職年数の2分の1)してあります。

また、山口功位前議長及び石川恒夫議長に、全国市議会議長会評議員としての活動に対し感謝状が贈られました。

写真左から  
 風間 輝栄 議員 (議員在職10年以上)  
 中島 正昭 議員 (議員在職15年以上)  
 宮脇 雅夫 議員 (議員在職15年以上)  
 佐竹 政志 議員 (議員在職15年以上)  
 石川 恒夫 議長 (議員在職15年以上)